

## 令和元年度 第2回古賀市国民健康保険運営協議会議事録

- 【会議の名称】 令和元年度第2回古賀市国民健康保険運営協議会
- 【日時・場所】 令和元年12月17日（火） 19:00～20:25  
古賀市役所 302会議室
- 【主な議題】 (1) 平成30年度国民健康保険特別会計決算報告について  
(2) 国保事業費仮納付金の報告について
- 【傍聴者数】 0人
- 【出席委員】 渡信人会長、三輪朋之会長代理、塩津美都子委員、淀川治委員、  
芝尾郁恵委員、鐘ヶ江勝委員、矢野洋子委員  
(欠席委員：野田廣子委員、堤啓委員)
- 【事務局】 市民部長（清水）、  
市民国保課長（坂井）、国保係長（長野）、国保係（阿部）、  
予防健診課長（長崎）、健診指導係長（吉田）  
(庶務担当部署：市民国保課)
- 【配布資料】
- ① 会議資料（平成30年度決算・国保事業費仮納付金について）
  - ② 参考（福岡県国民健康保険運営協議会資料一部抜粋）
  - ③ 資料（特定健診等の状況）

## 【会議の内容】

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 議事

#### (1) 平成30年度国民健康保険特別会計決算報告について

(資料説明：国保係長)

#### (2) 国保事業費仮納付金の報告について

(資料説明：市民国保課長・国保係長)

- 鐘ヶ江委員 今後、国民健康保険特別会計の赤字はふえていくのか。
- 国保係長 1人当たり納付金は上昇傾向にある。現在の税率のままであると、赤字はふえていく可能性は高いと想定する。
- 渡会長 令和元年度の財政見込みは。
- 国保係長 当初予算編成時には約5千万円の黒字となっている。現状からすると、国保税収入は当初予算より多くの収入を見込める状況にあり、大きな変動がなければ黒字になると見込む。
- 淀川委員 令和2年度は約4千万円の赤字を見込むが、前年度からの繰越金が約2億円あり、今年度も約5千万円の黒字の見込みであるため、来年度は保険税の改正を行わなくてもよいということか。
- 市民国保課長 そのように考えている。
- 淀川委員 激変緩和措置の111.3%が今後上がっていくということなのか。
- 国保係長 今回は仮算定結果ではあるが、令和2年度の激変緩和措置の一定割合を定め、令和5年度までは激変緩和措置を続けるというのが、現在の県としての方針である。激変緩和措置がなくなる令和6年度まで段階的に激変緩和措置のパーセントを上げていくということである。
- 淀川委員 今回の111.3%は仮の数値ということか。
- 国保係長 そのとおりである。
- 淀川委員 福岡県運営協議会資料の9ページにあるように、令和2年度の1人当たり納付金も同様な伸び率になっているのか。
- 国保係長 平成31年度の県全体の1人当たりの伸び率は107.8%となっているが、これが上がっていく傾向にある。市町村毎に上下はあるであろうが、県全体として上がっていく傾向にあると考えている。
- 鐘ヶ江委員 平成28年度と比較して、1人当たり納付金が減少している市町村があ

るが、その理由は何か。

- 国保係長 国からの公費の増、国民健康保険加入者の所得の減、医療費の減等のさまざまな要因が考えられるが、詳細は不明である。
- 芝尾委員 保険給付費を抑えると納付金も下がるのか。
- 国保係長 計算上は保険給付費が下がると納付金も下がる。納付金は県全体の保険給付費等で計算するため、県全体での医療費の適正化が必要と考えている。
- 三輪委員 高齢者の負担が上がるのか。
- 国保係長 後期高齢者医療制度の負担割合等について、国で議論が行われているようである。
- 三輪委員 医療機関の立地状況で医療費は変わってくるのか。
- 国保係長 医療機関が近くに多くあると、受診しやすいことから医療費が高くなる傾向があるようである。
- 渡会長 医療機関の充実と健康寿命の関係はあるのか。
- 市民国保課長 様々な要因があるため一概には言えないと考える。
- 芝尾委員 福岡県の医療費は全国的に見て1番高いと聞いたことがあるが、どうか。
- 国保係長 国民健康保険はそこまで高くないが、後期高齢者医療制度の1人当たり医療費は全国で1番高いというデータがある。
- 塩津委員 古賀市の財政はまだ余裕がある感じがするため、しばらく国保税も上がることはないのか。
- 国保係長 令和2年度は税率改定の必要はないと考えているが、今後のことを考慮すると、税率改定の検討は必要と考えている。
- 塩津委員 3年間に変えないということであったため、次年度までということか。
- 国保係長 そういうことになる。次々年度に向けて、今後委員の皆様の意見をいただきたいと考えている。

### (3) その他

#### ・特定健診・保健指導について

(資料説明：健診指導係長)

- 渡会長 透析患者の人数はどうか。
- 健診指導係長 昨年度の国民健康保険加入者で新規の方は1名である。
- 国保係長 毎年変動はあるが、医療証を発行している方は20名前後である。後期高齢者医療制度へ移行する方、新規に医療証を発行する方等があり、入れ替わりはある。
- 芝尾委員 特定健診の継続受診率が低いようであるが、どうか。
- 健診指導係長 過去2、3年の受診者に電話勧奨を行っている。
- 予防健診課長 電話勧奨が有効と考えている。過去に継続受診率が上がっているときは、健診の申込方法をはがきのみから電話、インターネットを追加したことによるもの

であり、今後もアプローチ方法を検討する必要があると考えている。また、健診後の保健指導の充実も重要であり、今後の課題である。

- 芝尾委員 特定健診の受診率向上の取組は。
- 予防健診課長 土日健診、地域での健診、レディース健診等工夫を行っているが、医療機関が多いため、何かあれば病院を受診すればいいと思っている方も多いのと、治療中の方が多いため、医師からも特定健診の受診勧奨を行っていただきたいと思っている。
- 三輪委員 特定健診の受診勧奨で個人情報の取り扱いは大丈夫か。
- 予防健診課長 管理しているため問題はない。
- 三輪委員 区長会での受診勧奨や商工会との連携を行っていたようであるが、継続しているのか。
- 予防健診課長 継続している。ヘルスステーションにも協力を願っている。
- 市民部長 予防健診課も様々な取組を行っている。行政から勧奨するが、医療機関が充実しているため大丈夫と言われる方が多いのも事実である。インフルエンサー的な方が各地にいればいいと感じる。
- 渡会長 健診有所見者の未治療者への対応は。
- 健診指導係長 健診結果で要治療の方を最優先に保健指導の対象としている。訪問することもある。
- 渡会長 重症化すれば、本人負担も医療費負担も大変になる。
- 健診指導係長 重症化前であれば、管理栄養士等の食事指導等で生活習慣の改善が可能である。保健指導を充実したいと考えている。

・議事録署名委員の指名

- 渡会長 議事録の署名は、芝尾委員にお願いする。

#### 4. 閉会